

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る  
郵便番号600-8652**京都版CO<sub>2</sub>排出量取引制度****「創出クレジット「京 VER」(平成24年度分)」から****CO<sub>2</sub>排出量630トンを購入し、環境に貢献いたします！**

京都銀行（頭取 高崎 秀夫）では、平成23年10月に京都府が運用を開始した「京都版CO<sub>2</sub>排出量取引制度」で平成24年度分として創出された京都独自のクレジット「京 VER」1,375 t-CO<sub>2</sub>のうち、杉の木約46千本の年間CO<sub>2</sub>吸収量に相当する630 t-CO<sub>2</sub>を購入しますのでお知らせいたします。

当行では、平成20年3月に「環境方針」を制定し、平成25年度までに平成19年度比17%以上のCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでおります。

この一環として、当行平成23年度分のCO<sub>2</sub>排出量削減の自主目標未達分として、京都府内全体の温室効果ガスの削減を図ることを目的に平成23年度に創設された「京都版CO<sub>2</sub>排出量取引制度」平成24年度認証分のクレジットを購入するものです。

## 記

## 1. 購入する排出権

630 t CO<sub>2</sub>京都版CO<sub>2</sub>排出量取引制度によるクレジット「京 VER」

## 2. 取引価格

相対取引のため取引価格は公表しておりません

3. 「京都版CO<sub>2</sub>排出量取引制度」について

京都議定書誕生の地・京都から、

資金面等で温室効果ガスの排出削減が進まない中小企業の省エネ対策の支援

モデルフォレストなどによる森林吸収源対策の促進

クレジット活用による大規模排出事業者の排出削減目標達成支援

企業の環境貢献活動(CSR)や観光商品等への活用促進

等を目的に、京都府が平成23年10月から運用を開始した制度。

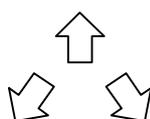
<ご参考>「第一次環境プラン」、「平成 25 年度環境プログラム」について

( 1 ) 「第一次環境プラン(平成 20 年度～平成 25 年度)」について

数 値 目 標	<p>当行の CO<sub>2</sub> 排出量について平成 19 年度 ( CO<sub>2</sub> 排出量 10,687 t ) を基準として、平成 25 年度までに総量で 17%以上削減。</p> <p>平成 19 年度比削減目標、平成 20 年度・21 年度で 4%、22 年度で 8%、23 年度で 12%、24 年度で 15%は達成。</p>
銀行本体の取り組み	省エネ活動、排出権の購入等
お客様・地域社会 に向けた取り組み	「京都モデルフォレスト協会」等への積極参加、環境配慮型商品・サービスの提供、排出権取引への対応 等
従業員の取り組み	全役職員の家族における「エコライフ」への取り組み 等

( 2 ) 「平成 25 年度環境プログラム(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)」について

銀行全体の取り組み	
<p>&lt;数値目標&gt;</p> <p>当行の CO<sub>2</sub> 排出量について平成 19 年度 ( CO<sub>2</sub> 排出量 10,687 t ) を基準として、平成 25 年度に総量で 17%以上削減。</p>	<p>&lt;主な活動計画&gt;</p> <p>省エネ活動の推進 環境に配慮した店舗設計 低公害車の導入 紙使用量の削減 資源リサイクルの推進 グリーン購入の推進 情報開示の充実 排出権取引の取り組み</p>



お客様・地域社会に向けた取り組み
<p>「京都モデルフォレスト協会」、「日本の森を守る地方銀行有志の会」への積極的参加 「京銀ふるさとの森」、「京銀ふれあいの森」の育成 環境配慮型商品、サービス等の提供、環境保全事業のサポート</p>

従業員の取り組み
<p>全役職員の「エコライフ」の取り組み 環境ボランティア活動への参加 環境教育への参加</p>

以 上